

「ふるさと浅海に尽くす」～井手鉄一～

校長 黒川 弘 教

「ふるさと北条～わたしたちにつながる先人～」という本の中に、浅海地区の先人の話が出ていました。先人の思いを受け継いでほしいと思い紹介します。

浅海公民館の南にタイルばりの立派な建物があります。これは、旧浅海小学校の図書館で、浅海出身の井手鉄一さんが寄付してくれたものです。現在の浅海小学校は旧浅海中学校の跡地に移ったので、現在は公民館が管理しています。松山市の小中学校で、個人の寄付で立てられた図書館は他になく、大変珍しいものです。

鉄一さんは、明治37年、浅海村に生まれました。20歳のとき丁稚奉公にいき、苦勞の連続だったそうです。2年間浅海で過ごしたときに、地域の人が大変心配してくれているいなものをいただき、大変助かったそうです。その後、仕事が成功し、会社を営むようになったそうです。

鉄一さんは、家庭の都合で勉強したくてもできない環境で育ちました。そこで、浅海小学校の子どもたちに勉強してもらいたいと願い、テレビ、体育器械、遊具、井手文庫などの寄付をしました。特に井手文庫には、毎年20万円相当の本を贈ってくださいました。

そして、昭和56年に鉄筋2階建ての図書館を建てたのです。

鉄一さんは、自伝の最後を次のように締めくくっています。

「浅海の方々は、松山の空襲で焼け出されてきた私たちを助けてくださった大変優しい方々です。大変人情に厚く温かい方たちです。何と私は逆境に強い果報者でしょう。一重にこれも温情温まる親切な支援あったればこそと心から感謝しております。私のできることは、この地域社会の発展を願い、住民の平和を願って努力し続けること、そう決意しております。」

このようにふるさとに感謝し、ふるさと浅海に尽くした鉄一さんの功績をたたえ、胸像がつくられました。胸像は、浅海小学校の図書室に置かれ、今も本を読みにくる子どもたちを温かく見守っています。



<現在の図書室の胸像>

先人の思いを引き継ぎ、たくさんの本を読んで知識を深め、自分自身を成長させてほしいと願っています。また、浅海地区の温かさも引き継いでください。

海と友達になろう



ものづくりグループ

海で拾った貝がらやガラスを生かして写真立てやモビールを作りました。



1・2年生グループ

海で遊んだり、海藻でゼリーやとろてんを作ったりしました。

生活科と総合的な学習の時間に、浅海オレンジタイム（AOT）「海と友達になろう」の活動をしました。子どもたちの大好きな浅海の海をもっと知ろうと自分のテーマにそって学習しました。活動を通して、自然と不思議さや面白さに気づき、浅海の海のよさを再発見しました。



釣りグループ

釣り竿や仕掛けの作り方を調べ、どんな魚が釣れるか発表しました。



生き物・環境調べ

海や浜辺の生き物を調べ、海的环境について考えました。



塩グループ

塩について調べて、海水から塩を取り出し、塩クッキーを作りました。

保育園との交流

1・2年生が浅海保育園に行って、交流会を行いました。歌やダンスをしたり、自分たちが作ったゲームを一緒にしたりして、保育園の子どもたちと楽しく交流しました。なつかしい保育園で、園児たちのお兄さん・お姉さんとして、しっかりと頑張って活動する姿を頼もしく感じました。



ゲームを作って遊んだよ。



みんなで、元気いっぱいに歌って踊ったよ。



田植えをしたよ

5・6年生は、JA浅海支部の青年部の方のご協力で田植えを体験しました。泥の感触を楽しんだり、米作りの工夫や大切さを学んだりしました。



転んで泥んこにならないように植えたよ。



機械で植えると、速くできるね。